

郡上市 議会だより



園児たちの可愛い
晴れ姿「やまびこ園」

「観光立市郡上」を目指し、 未来への投資と財政健全化を両立

平成29年度一般会計決算認定 主な事業	2P
決算認定特別委員会 Q & A	4P
9月定例会	6P
郡上の課題を問う 16人が一般質問	7P
各委員会活動報告	16P
キッズページ・平成31年度議会モニター募集について	19P
クイズ・編集後記	20P

題字「郡上市」は
□明方小学校6年生
おおつぼ みゆ
大坪心結さんの作品です。

2018.11 第58号

「観光立市郡上」を目指し、未来

への投資と財政健全化を両立

【決算の概要】

平成28年度との比較では、一般会計歳入は38億2459万円、歳出は41億9458万円の増額となった。
 市税では個人市民税4078万円増、法人市民税666万円増、固定資産税は4069万円減少した。
 普通交付税は合併算定替段階的削減の影響等で6億6971万円の減となった。
 主な財政分析指標である実質公債費比率は0.2ポイント減の12.7%、将来負担比率は22.4ポイント増の67.4%となった。

平成29年度決算 認定

一般会計	歳入 324億3862万円
	歳出 314億4300万円
特別会計 (20会計)	歳入 159億5019万円
	歳出 149億2919万円

地方創生・地域振興

- 庁内全体で観光立市を推進するため副市長を本部長とした「観光立市郡上推進本部」を立ち上げた。
- 都市部との連携を通じ、市内での雇用の創出及び移住促進を図るため「郡上カンパニー」のプロジェクトを新たに始動させた。
- 関係人口の創出を目指し、「郡上藩江戸蔵屋敷」事業を東京都港区で開催した。



郡上の応援団を首都圏に！



地域経済の振興拠点を整備

入居し、市の産業振興の中心拠点となる「郡上市産業プラザ」を整備した。

産業・雇用

- 地方交通対策経費として、交通事業者が運行するバス路線について、運行補助を実施した。
- 市、商工会、観光連盟など各種団体が

医療・健康・福祉

- 介護職員の人材不足に対応するため、介護職員の初任者研修の一部費用を

教育・文化・スポーツ

- 市内の全小中学校にテレビ・WEB会議システムを導入。他校とのふれあいにより、コミュニケーション能力の向上、多様な視野の醸成など人材を育てることに努めた。
- 心の相談員を全中学校に配置し、いじめや不登校、学習などの相談体制を構築した。
- 八幡城天守耐震補強事業では、八幡城天守閣の現状を把握するために、耐震診断を実施した。
- 貴重な歴史資料などを後世に伝えるため、郡上市歴史資料館を整備した。
- 美並まん真ん中広場の人工芝化工事を行い、スポーツ環境の整備を行った。

環境・防災・社会基盤

- 倒木が原因の停電や道路の寸断を防ぐため「ライフライン保全対策事業」を実施し、危険性のある立木を伐採した。



多くの市民が集い 地域医療について話し合った

- 助成したほか「介護職やる気UP集会」を開催した。
- 成長発達に気になる幼児・児童に対して、児童発達支援・放課後等デイサービスなどを実施し発達を促した。
- 在宅障がい者の生活を支援するため、通院通勤にかかる交通費の一部助成を行った。
- 市民協働により地域医療を守る活動として、新たに地域住民参加型の地域医療フォーラムを開催した。



市民の安全を守る耐震工事

- 高機能消防指令センター設備の部分改修を行い、無線連携などの強化を図った。
- 市内幹線道路のネットワーク計画を策定した。
- 郡上環境衛生センターの大規模改修を行い、適正な管理による機械整備の延命を図った。



郡上をスポーツのメッカに！

決算認定特別委員会

主な審議内容Q&A

委員長に森喜人委員、副委員長に原喜与美委員を選出し、9月12日13日及び14日の3日間にわたり審査した。

本会議最終日に委員長報告をした後、採決し認定した。

一般会計

歳入

問 法人市民税の状況について2・1%増収であったが、業種別でどれだけ増収があったのか。業種によって分析すれば、雇用、産業の促進につながるデータとなるため知りたい。

答 法人市民税の業種別では、分析を行っていないため、今後は業種別の検証を行っていく。

問 ふるさと納税において、市民が他の自治体へ寄付するが、財政の収支として考えた場合はどうか。

答 郡上市財政としては、受け取った寄付金と、失った税収（控除額）

よつな仕様で改修をされたのか。

答 傾向としてはトイレ、風呂、廊下、客室などで、単なる修繕だけでは認めておらず、それをすることでお客様が増えるということを主眼においた改修を求めている。

問 雇用奨励金交付事業について、1ターンの、2ターンの、新規卒業者を雇用した場合に奨励金が出るが、その雇用人数は。

答 転入者24人、新卒者29人である。1ターン、2ターンの区別することなく、採用した企業に1人当たり10万円をお支払いした。

問 災害対策事業費について、訓練時の備蓄品の配布は、賞味期限が迫った備蓄品の有効活用手段の一つであるかと思うが、入手するための手続きはどのような手順を踏めばよいか。

答 賞味期限切れ前の備蓄品について、大規模現地訓練の炊き出し訓練における使用や、小中学校に対する防災教育の一環としての配布を行っている。各地域で行われる防災訓練の際に、自治会から申し出があれば配布をしている。

歳出

との差額、それから返礼品の費用（コスト）、交付税としての補てんを考えた場合、自治体財政としては、プラスである。

問 地方創生推進交付金について、先進的な取り組みとして移住者を目的として事業が展開されていたが、実際12のプロジェクトには応募は何人、採用が何人、移住者が何人であったのか。

答 昨年の郡上カンパニーに12のプロジェクトを募集した中、移住して取り組みたい方は19人であった。8事業をスタートさせ、移住してきた事業者は8人とその家族が4人であった。

問 財産管理経費の土地建物の賃借料について、合併10年以上が経過しているが地代の見直しを行っているのか、定期的に見直ししているのか伺いたい。

答 地代の見直しは行っていない。契約が長期に及んでいるということもあるが、昨今の状況も踏まえ更新時には検討していきたい。



備蓄品を炊き出しや配布で有効活用

問 小中学校 校舎等整備事業について、エアコンの設置や取替があるが、いずれもパソコン教室の設置であり普通教室がない。何とか普通教室に整備を。

答 パソコン教室と図書室、保健室は、普通教室が高温になった時に避的に使用するので、優先的に整備している。段階的にも普通教室にも整備をしていきたい。

問 八幡城天守耐震補強事業について、天守の耐震診断というのはどの程度のものではなかったのか。

答 震度6強で倒壊する可能性が高いという結果だった。その結果を踏まえて、今年度耐震にかかる実施設計を実施中である。

ついて、人件費の2分の1相当を助成とのことだが、シルバー人材センターの現状はどうか。

答 平成29年度実績として、会員数が487人であり、男女比は、男性が7に対し女性が3。会員の平均年齢は71歳である。受注件数としては、1,869件である。

問 放課後児童健全育成事業について、各地域の人口規模に対する利用者数の比率として地域差があるのは受益者にとって不公平感があるのでは。利用実績を考慮して今後の施策で改善できるようにしては。

答 放課後児童クラブは、それぞれの地域の小学校単位で開催できることが望ましいと考えますが、場所と支援員の確保が問題である。小規模校であっても近くで開設可能となるように、調整を行っていきたい。

問 赤ちゃんの駅整備事業について、利用者が安心して利用できている実績がわかるが良い。設置場所のノートを書き感想を書いていただくなどの工夫で、利用者の意見を把握できるようにするのは。

答 旧庁舎記念館は平成28年度

219人、平成29年度293人の利用があった。城下町プラザは平成28年度10人、平成29年度20人の利用があった。利用者は増加傾向にあるといえる。

問 環境衛生センター管理運営費について、郡上コンポストは郡上市内でどういった形で配布をされているのか。また利用状況は。

答 八幡 美並地域は、環境衛生センターへ持ちに来ていただく。その他の地域は、地域ごとに1カ所ずつ集積場から持って行っていた場合もある。利用状況については、全部が使用されている。

問 学校給食地産地消推進事業について、市内の野菜の使用割合が14.6%と示されているが、この数字についてどう受け止め、今後どのような数値目標を立て取組む予定しているのか。

答 できるだけ予約を取って供給することを検討しており、目標としてはもう少し伸ばしていきたいと考えている。

問 宿泊施設改修支援事業について、23カ所の利用があり、非常にニーズが高かった事業であるが、どの

平成29年度歳入歳出決算監査委員審査意見書（抜粋）

審査結果

審査に付された各会計歳入歳出決算の計数は関係諸帳簿等と符合しており、概ね所期の目的を達成したものと認められた。

（総括）

平成29年度の財政状況は、実質公債費比率が前年比0.2ポイント改善の12.7%となり、これまでの良好な財政運営への努力がうかがえる。

一般会計の地方債の発行額は、45億3,050万円となっており、これに対し42億1,731万円の市債の元金償還を行った結果、平成29年度末残高は前年度末残高より3億1,319万円増加し、33億9,688万円となっている。

市税や使用料等の滞納額を増やさないためには、いかにして現年度分を徴収するかが重要であり、徴収嘱託員による現年度分を中心とした徴収を進めるなど、収納率向上に努められるよう望むものである。

道路改良工事等においては、道路改良の終点までを見据えた実効

性の高い路線計画とするため、地元権者等の意思確認を十分に取つたうえで用地交渉にあたり、事業を推進させていく。

（水道・病院事業会計）

水道事業は、経営努力により未処分利益剰余金8,922万円を計上し、前年度に続き黒字経営となっている。今後は、老朽化した管路の更新に多年度にわたり相当な費用がかかることを想定される。適正な料金への見直しを視野に入れ、より効率的な経営を展開することにも、良質な水の安定供給に努めていってほしい。

病院事業は、前年に引き続き赤字決算となった。国保白鳥病院では本格的に地域包括ケア病床を導入したことに伴い診療単価が増加し入院収益を増やす事ができた。医師や看護師等の医療従事者の持続的な確保に努められ、医療水準の維持・向上と医療の安全・信頼性の確保に努めていってほしい。

平成30年9月10日

郡上市監査委員 大坪 博之
田中 康久

9月定例会

人事案件

○人権擁護委員候補者の推薦について

三島一朗氏・出井建雄氏・佐藤百合子氏(以上再任)細川竜弥氏・大林稻子氏(以上新任)の5氏の推薦に同意 (全会一致)

平成30年度一般会計補正予算

17億2666万円増額承認

(全会一致)

主な補正予算の内容

○企業誘致関連整備事業

白鳥町大島工業団地整備に係る調整池、道路改良の事業費 2億6071万円増額

○旧越前屋改修事業

八幡町旧越前屋の耐震補強工事及び土地買戻しの事業 1億9526万円増額

○ひとり歩き高齢者家族支援事業

認知症高齢者の安全対策としてGPS位置情報システム導入の補助 新規40万円

○(仮称)短歌交流館整備事業

大和町フィールドミュージアムに島津忠夫文庫収蔵その他の機能を併せた交流会館を整備 5299万円増額

主な条例改正

○郡上ケーブルテレビネットワーク施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正

○郡上地域情報通信ネットワーク施設の使用及び管理に関する条例の一部を改正

現行の行政無線戸別受信機による音声告知放送の廃止及びケーブルテレビの光化を整備する (全会一致)

工事請負契約の締結

○郡上ケーブルテレビ光化整備

・センター設備工事
・伝送路1工区工事(大和町以南)
・伝送路2工区工事(白鳥町以北)
総計約20億円 (全会一致)

専決処分した事件の承認について

○平成30年7月豪雨による災害の復旧事業の承認

・一般会計関連	5億9931万円
・国民健康保険関連	2279万円
・下水道事業関連	2200万円
・介護サービス関連	977万円

(以上承認全会一致)

請願・陳情

継続審査の請願2件、新規請願2件が提案され、1件の意見書を採択。

国へ意見書を提出しました

○主要農作物種子法廃止に伴う参議院附帯決議の履行を求める意見書

主要農作物の種子の安定供給や品質確保の取り組みを後退させることのないよう附帯決議を確実に履行するとともに、農業者等の不安払拭のために、必要な措置を講じるよう強く要望する。

○精神障がい者に対する交通機関の運賃割引制度の適用を求める意見書

各交通機関における障がい者運賃割引制度の対象者は、身体障がい者及び知的障がい者に限定されていることが多い。

精神障がい者についても、身体障がい者及び知的障がい者と同等の運賃割引制度が適用されるよう、交通業者に対して働き掛けを行うなど、必要な措置を講じるように強く要望する。

○幼稚園・小中学校における空調設備の設置促進に向けた財政支援の拡充を求める意見書

地球温暖化等の影響により、全国的に夏の暑さが非常に厳しくなり、児童・生徒の学習意欲や集中力が低下するだけでなく、健康面にも多大な影響を及ぼしている。

市町村における幼稚園や小中学校への空調設備の導入が着実に進められるよう、学校施設環境改善交付金の予算規模の大幅な増額等、財政支援を拡充するよう、強く要望する。